

【参考】入賞した技能競技全国大会の概要

	第61回技能五輪全国大会	第43回全国障害者技能競技大会 (アビリンピック)	第32回技能グランプリ
目的	国内の青年技能者の技能レベルを競うことにより、青年技能者に努力目標を与えるとともに、技能に身近に触れる機会を提供することなどを通じて、広く国民一般に対して、技能の重要性、必要性をアピールすることにより、技能尊重気運の醸成を図ることを目的とする。	障害者が日頃培った技能を互いに競い合うことにより、その職業能力の向上を図るとともに、企業や社会一般が障害者に対する理解と認識を深め、その雇用の促進を図る。	特級、一級及び単一等級技能士の一層の技能向上を図るとともに、その地位の向上と技能尊重気運の醸成に資する。
主催	厚生労働省、 中央職業能力開発協会	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構	厚生労働省、 中央職業能力開発協会、 一般社団法人全国技能士会連合会
日程	令和5年11月17日(金)～21日(火)	令和5年11月17日(金)～19日(日)	令和6年2月23日(金)～26日(月)
会場	愛知県国際展示場(愛知県常滑市)ほか	愛知県国際展示場(愛知県常滑市)	西日本総合展示場(北九州市)ほか
競技職種等	全41職種に全国から1,010名の選手(地方予選等において優秀な成績を収めた23歳以下の者※)が出場 (情報ネットワーク施工職種には24名が出場) ※情報ネットワーク施工職種は、24歳以下の者	全25種目に全国から369名の選手(地方アビリンピック等において優秀な成績を収めた15歳以上の障害者)が出場 (表計算種目には32名が出場)	全30職種に全国から379名の選手(技能検定の特級、1級又は単一等級の技能士であって、都道府県職業能力開発協会又は都道府県技能士会・連合会から推薦された者)が出場 (プラスチック系床仕上げ職種には11名が出場)